

家畜衛生情報誌

『 一 支 国 』

2014. 夏号



壱岐振興局農林水産部 壱岐家畜保健衛生所

〒811-5734 長崎県壱岐市芦辺町国分本村触1385-1 TEL : (0920)45-3031

E-mail : s13230@pref.nagasaki.lg.jp

FAX : (0920)45-3386

~Website~

<http://www.n-nourin.jp/ah/agrilink/hukyuu/iki/kakuka/3eiseika.html>

飼養衛生管理基準遵守状況の 確認巡回を行います



農場における疾病予防の基本は、なんといっても適切な飼養衛生管理の徹底です。

今年度も、農業共済組合が実施する畜舎消毒に併せ、各農場における飼養衛生管理基準の遵守状況の確認を行いますので、ご協力をお願いします。

【主な確認事項】

- 農場出入口の消毒設備（消石灰帯等）の設置
- 畜舎出入口の踏込み消毒槽等の設置
- 畜舎への立入り状況、家畜の導入・出荷等の記録または伝票等の保存
- 畜舎の衛生管理状況

平成25年度病性鑑定内訳

畜種	項目（件数）	主な診断名（件数）
牛	消化器尿路系疾患（13）	クロストリジウム感染症を疑う（2）、真菌性第四胃炎（1）、腸捻転（1）、腸間膜ヘルニア（1）、急性腹症（1）、腹膜炎（1）、化膿性腎炎（2）、腎炎（1）、尿毒症（2）、脂肪壊死症（1）
	呼吸器系疾病（4）	誤嚥性肺炎（1）、肺炎（3）
	傷病（6）	創傷性心臓炎（3）、創傷性脾炎（3）
	腫瘍性疾患（4）	牛白血病（1）、牛白血病疑い（3）
	その他（5）	破傷風（1）、破傷風疑い（1）、心内膜炎（1）、関節炎（1）、臍帯炎（1）
	異常産関連（8）	先天異常（盲目）（1）、先天性奇形（1）、不明（5:非感染性、1:感染性）
豚	消化器尿路系疾患（1）	豚大腸菌症（1）
	その他（1）	不明（1）
鶏	その他（1）	不明（1）
血液検査		生化学検査（42:肥育牛のビタミン検査等）、各種血清中の抗体検査（58:ヨーネ病、牛流行熱、鳥インフルエンザモニタリング等）
その他の検査		糞便検査（16）

夏を乗り切ろう！！牛の熱中症とその対策！！

昨年の夏は例年にない猛暑でしたが、今年も、気象庁の夏（6～8月）の天候見通しでは気温は平年並みか高い見込みのようです。

暑い夏で気がかりなことは、家畜の熱中症でしょう。そこで、牛の熱中症とその対策について紹介します。

①牛の熱中症の症状は？

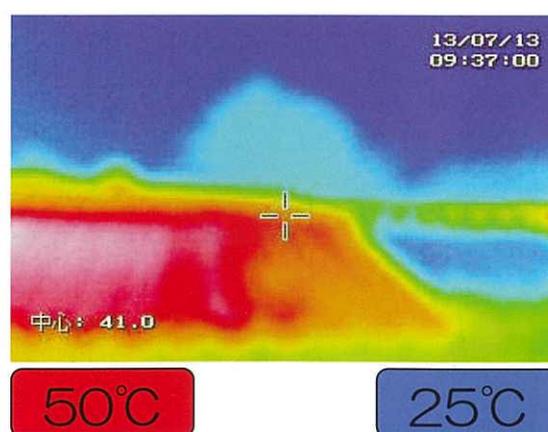
食欲が落ちたり、活力がなくなります。また、呼吸は荒く早くなり、よだれをたくさん流す場合もあります。牛の平熱は38.5度前後ですが、体温が40度を越えることもしばしばです。

②畜舎環境面からの対策

畜舎の外から舎内温度を下げる方法としては、植物を利用したグリーンカーテンや遮光ネットの設置、屋根や壁への断熱材の設置、ペンキや石灰による白色塗装などがあります。

下の写真は、黒く汚れたスレート屋根を、そのままの状態、掃除をした状態、掃除後に石灰塗布した状態に分け、赤外線カメラを用いて温度を比較したものです。そのままの状態では、表面温度は約50℃を越えていますが、掃除をしただけでも温度が下がり、石灰を塗布した部分では約25℃と著しく低下しています（当所の石灰塗布効果の検証試験より）。

また、畜舎の中から舎内温度を下げる方法としては、換気扇や扇風機での送風があります。障害物を取り除き、風の通る道を作ることが重要です。



③飼養管理面からの対策

密飼いをさけたり、毛刈りを実施することで体感温度を下げるすることができます。また、新鮮な水を十分に与え、脱水を防止することも重要です。

- 予防対策は、いくつか組み合わせて実施するとより効果的です。
- 牛の気持ちになって対策を考えましょう。

和牛生産（繁殖）農家の皆様へ

精液利用状況確認のため授精証明書で、バーコードの読み取りを開始します。

つきましては、**所有しているすべての授精証明書の提出をお願いします。**

①子牛が生まれた場合

⇒いつもどおり出生届けをして下さい。

②成牛（妊娠）で販売する場合

⇒いつもどおり販売申し込みに付けて下さい。

③成牛（不妊）で販売する場合

⇒販売申し込みに付けていただくか、もしくは、支所窓口（指導員）へお渡し下さい。

④妊娠せずに不要になった授精証明書

⇒家畜人工授精師が回収しますので、廃棄しないで下さい。

⑤共済事故で共済組合に提出した授精証明書

⇒共済組合と農協で処理します。

※対象となるのは下の**長崎県所有種雄牛のバーコード付き精液証明書**が貼られた人工授精証明書です。

種畜証明書番号	平23長崎県2第1号	種畜の等級	特級
名 前	平 茂 晴		
家畜登録機関名及び登録番号	全和黑原3712		
飼育品種	肉用牛 黒毛和種		
精液採取年月日	平成 24/05/07		
種畜調査者の住所及び氏名	平 田市田平町小手田高田		

109 (平24) (雄)

00109201205070100018

109 平成 24/05/07 平100010

100010

1000201205070100018

100010

1000201205070100018

バーコードが付いています

吉崎市農業協同組合
吉崎家畜保健衛生所
吉崎市家畜人工授精師会
〈問合せ先〉
吉崎家畜保健衛生所
TEL 0920-45-3031

平成26年度家畜保健衛生所事業推進会議を開催しました

去る7月1日（火）、当所の事業推進会議と県畜産協会壱岐支部の事業推進協議会を壱岐市立一支国博物館で開催しました。

まず始めに開催された畜産協会壱岐支部の事業推進会議協議会では、平成25年度の事業実績報告と今年度の事業計画について説明がありました。



続いて開催された事業推進会議では、まず、家畜保健衛生所の運営に関する重点項目、家畜伝染病予防事業および家畜衛生対策事業について説明し、家畜衛生情勢として、昨年度の県内での家畜伝染病発生状況や管内の病性鑑定状況について説明を行いました。

また、畜産振興事業関係では、肉用牛改良関係事業の昨年度実績と今年度の計画について説明を行いました。

さらに、家畜伝染病発生時の防疫対応について、愛知県が作成した防疫活動の流れをまとめたDVDと、宮崎県が作成した2010年の口蹄疫との闘いと復興を描いたDVDを上映し、迅速な初動防疫の重要性や防疫作業の手順を学ぶとともに、万が一の場合は、関係機関が一丸となった取り組みをお願いして終了しました。



つぶやき

壱岐での生活に慣れてきたこのごろ、夏にむけてどんどん暑くなっているのを感じます。初めての壱岐の夏、海水浴を楽しみにしています。壱岐の豊かな自然とあたたかい人々に感謝しながら、壱岐での生活を満喫したいと思います。(な)